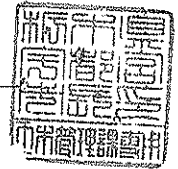




国土第127号
平成19年5月8日

国土交通省 道路局長 様

宇都宮市長 佐藤 栄
(建設部土木管理課扱)



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

日頃より、本市道路行政に対しご理解、ご協力をいただき、まことにありがとうございます。
さて、平成19年4月2日付、国道企第114号にてご依頼のありましたこのことについて、
下記のとおり意見を提出いたします。

記

1. 意見

別紙 「中期計画」に係る意見 のとおり

【担当】

建設部 土木管理課 企画グループ

高橋, 石川

TEL 028-632-2509

国土交通省「中期計画」に係る意見

●重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ・快適性、安全性の確保
⇒慢性的な交通渋滞の解消，交通事故の減少，住みやすさに対するニーズ（歩道，通学路の整備）の高まりに対応するみちづくりが重要。
- ・持続可能なまちづくりのための交通体系を推進する道路整備（人口減少，超高齢化社会への対応）
⇒公共交通の充実，交通結節点の強化，バリアフリーの推進が急務。
- ・都市力の向上に資する道路網の構築
⇒幹線道路網の整備，高速・高規格道路へのアクセス強化など都市活力の向上が必要。

●効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・道路計画体系の確立，時間管理概念の徹底
⇒道路行政の透明化（見える化），事業期間の短縮や事業効果の早期発現を徹底すべき。
- ・説明責任の達成と行動計画の公表（市民理解）
⇒今後の道路整備の目的や方針について市民と共有することは不可欠。

●道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・地域の目標を達成するための道路整備に関する支援，国・県との有機的な連携
⇒地域実情や地域特有の課題に応じたみちづくりに向けた目標の達成のための連携，補助・交付金制度の拡充が求められる。
- ・管理体制の強化による既存ストックの延命化，更新の平準化
⇒既存施設の有効活用や改良再生，効率的・計画的な維持管理体制を強化していくことが重要。
- ・環境，景観への配慮
⇒市民，沿道地権者等との一体的な価値観により，沿道空間を含めた道路環境の整備が重要。
特に，中心市街地では，回遊性，にぎわいを創出していく上でも課題となる。